

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 グットトライ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日	~	令和7年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日	~	令和7年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 1日	~	令和7年 3月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	40	(回答数) 29
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 23日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものニーズを汲むこと	利用児のエンパワーメントを意識的に行なっているため、まずは対象児童のパフォーマンスが良い場面を学校内外で見つけ、近い環境を学校を作るサポートを行なっている。	好事例を当事業所内外で集め、先生や保護者、本児と共有できるために知見を積み重ねる。
2	保護者支援	保護者とLINEで繋がり、何か相談があった際にはすぐにに対応できる体制をとっている。	保護者の不安や安心感を保つため、学校の先生方との共有も密に行なっていく。
3	地域（特に嘉手納エリア）とのつながりが強く、地域移行に強い	嘉手納町子ども家庭課からの「寄り添い支援事業」や福祉課からの「委託相談事業」を同法人で受けており、適宜ミーティングで支援や地域移行についての情報共有や連携を行なっている。	社協や青少年センター、SSW等の公的な機関との連携は密接であるが、インフォーマルな資源との連携を強化していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの発達形成に関わる部分の知識や経験が弱い。	相談員経験の多いスタッフが多いため、発達形成についての知識や経験の不足がある。	法人内研修と、言語聴覚士スタッフによるケース勉強会の強化を行う。
2	学校の先生との情報共有	訪問先施設評価のアンケートより、家庭状況の情報がもっと欲しいとのご意見があった。	家庭の状況をお伝えしているところではあるが、より先生のニーズを踏まえた情報提供をする必要を考える。
3	保護者の情報交換ができるような場がない	今年度、立ち上げ年度ということもあり保護者が情報交換ができるような場を作ることができなかった。	今後は保護者がお互いの情報交換ができるような場面を作っていく。